

# 学校 Library 通信



R5.6.20 発行

梅雨に入りましたが、雨はそれほど多くないように感じます。気温が高いため、熱中症にならないように水分補給に努めましょう！お昼休みは図書館に涼みに来てくださいね。

さて、『毎日小学生新聞』6月4日付の一面に、とても良い記事がありました。それは作家、辻村深月つじむらみづきさんが書いたものです。2018年の本屋大賞『かがみの孤城』こじょうなどの作者です。記事については、すでに小林先生から聞いたり、図書館入口の掲示も見たりした人がいるかもしれません。記事には、次のようにありました。長くなりますが、読んでくださいね。

「本を読むのが好きなのに、国語の成績がない。読書量と国語力は関係ないの？」という読者からの質問に辻村さんが答えていました。答えは、「関係がある」でした。「本を読むことで、国語の力は身につく、と考えている。」と。

(以下は抜粋。詳しくは掲示を)ただ、「国語力」は何も学校の成績だけに表われるものではなく、もっとずっとずっと大きく、学校の勉強の範囲を超えて、あなたを一生支えてくれる力なのではないか。本を読むことは新しい世界を知ること。読むことで他人になれるし、行ったことのない土地にも時間を超えた過去や未来にも行ける。人の心を知ることができる。また、読書は言葉や知識との出会いの場。読書を通じて出会ったたくさんの言葉があなたの中に蓄積されることは絶対無駄にならない。

大事なものは、読書をするのが「何かのため」とか「役に立つ」になってほしくない、ということ。すぐに見える結果につながらなくても大丈夫。見えないところに、力は絶対ついてるよ！

## 今月のおすすめの本

### 『かがみの孤城』

辻村深月 著 (ポプラ社)



### 『ツナグ 1, 2』

辻村深月 著 (新潮社文庫)



### 『科学探偵シリーズ』

佐東みどり 他 著

(朝日新聞出版)



これは  
6年生  
からの  
オススメ

## 今月の図書委員会活動

### 活動内容

- ・5月の反省
- ・6月の活動目標  
みんなに本を好きになってもらうために  
イベントのまとめをしよう
- ・新しい先生方の好きな本紹介 掲示作成と紹介発表

